平成２８年度大阪府がん対策推進委員会肝炎肝がん対策部会（概要）

１　日時　　平成２９年２月１５日（水）　午後２時～

２　場所　　大阪がん循環器病予防センター　６階研修室

３　議事　　（１）肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定について

（２）肝炎専門医療機関の現況報告について

（３）肝炎フォローアップ事業について

（４）第二期大阪府がん対策推進計画の取組状況について

（５）その他

４　議事概要、委員からの意見要旨及び審議結果

　　（１）大阪府肝炎専門医療機関及び大阪府肝炎協力医療機関の指定について《資料１》

新規申出のあった肝炎専門医療機関９機関、肝炎協力医療機関２０機関について、平成２９年２月１５日付健第２５１６号により諮問。

【審議結果】

肝炎専門医療機関９機関、肝炎協力医療機関２０機関については、指定が妥当。

（２）肝炎専門医療機関の現況報告について《資料２》

大阪府肝炎専門医療機関（１６７機関）を対象とした、平成２７年度における現況報告。

（３）肝炎フォローアップ事業について《資料３～７》

○北河内地区の肝炎ウイルス検査受診率が低い。受診者数は平成２６年度よりも減り、北河内全７市の受診者数が南部の人口約１８万人の市を下回っている。これら７市は魅了検診しているところは一つもなく、個別勧奨を行っているところもない、というところをみて、市に良い提言を行っていただきたい。

○大阪市では医療機関の肝炎ウイルス検査は有料だったが、市議会への働きかけでその後議会で全会一致で採択された。また、特効薬ができる等肝炎治療の環境がよくなってきただけに、肝炎ウイルス検査と陽性者へのフォローをより徹底していけば、まだまだたくさん救われる命が増えると思うので、よろしくお願いしたい。

⇒北河内地域の、四條畷・大東に関しては、専門医療機関がかなり少ない。医療資源的にも弱いとことも影響しているのかなと思う。検診のクーポンの配布等で市が努力していると認識している。

○資料３のアンケートについて、フォローアップ対象１０３人で回答数が約２割の２０人は少ないと思う。1月31日が締切で調査期間が約１週間しかない。締切が過ぎても回答しない人もいるだろうが、アンケートはこれで終了か。

⇒今回の報告は1月31日で締め切った時点の内容を報告したもの。締切日以降に届いた回答については今回の報告に加えていき、最終的な報告を行うつもり。

○重症化予防について、陽性者のフォローと精検受診者がその後定期的に受検しているかどうかの確認を行っていく必要がある。全国と比べて高い大阪府の肝がんと肺がんの死亡率を低くするために、フォローアップ及び定期検診を受診したかどうかの調査を、我々も一緒になって手助けしたいと思うぐらい。

○受診率の向上について、従来のような電話だけではなく、質問を受け付けてそれに返すようにすれば受診率が向上している例があり、受診率の向上へ向けたやり方を工夫して行う必要がある。

（４）第二期大阪府がん対策推進計画の取組状況について《資料８》

○肝炎コーディネーターの養成事業について、国及び府の動静、補助金交付などの予算措置について質問あり、現状について事務局より説明。

○がん対策推進員の役割について、府と民間協定を締結している会社の社員に対し研修会を実施の上推進員の認定を行っていること、受診勧奨用チラシ等を府で作成し、がん対策推進員が訪問先の企業の従業員に勧奨することを考えている旨事務局より説明。

○精検受診率が一昨年より減少しており、目標の80％に届かないのであれば、単に毎年同じ目標で進めるのではなく、受診者の目標を定める等、より具体的にした方がよいのでは。

○肝炎専門医療機関向け研修会について、府内約3,600機関で無料肝炎ウイルス検査を依頼している中で、参加者が70名では肝炎治療等の知識が患者等に行き渡らないのではと思う。研修に参加しない人に対し、何をどう伝えるかを考えていく等、研修内容を充実させていただきたい。

○治療中の肝炎ウイルス患者が途中で治療に来なくなることのないよう、傘下の医療機関に対しアドバイスやフォローなりお願いしたい。

○大阪府は肝炎消化器学会の医師が多く、恵まれている。ＩＮＦフリー体制ができていると思う。受診率、精検率が低い。保健所研修回数が少ない。府全体で持っていくようにしないと。

○肝炎ウイルス検査について、市民まつりやスポーツイベントはすべきだと思うが、来た時に検査を受けることができればと考えている。イベントや市民公開講座の場で肝炎検査を無料で受けることができる仕組みできれば。大阪府としても予算取りしていただき、初回だけでも良いので肝炎検査を無料で受けることができる機会を作っていただければ。

　　⇒イベント会場等で肝炎検査を行う場合、巡回診療、巡回検診に該当し、許可を得た医療機関でないとできないという、医療法の問題もあって実施は難しい。それと、市町村の健康増進事業、大阪府が行う無料ウイルス検査、政令市の行うウイルス検査事業がある中で、大阪の真ん中で肝炎を行うとなると、住んでいるところによって無料で受診できる方とできない方が出てくるところが難しいのでなかなかできない状況。将来的にはそういうところを視野にいてて考えないといけないのは重々承知している。

○自己評価について、ほとんど実現不可能な数字を億表設定していたことになるが、設定をいまさら変えられないのであれば、評価をＢ→Ａに行くにはこの一年頑張らないといけないという気がする。

【審議結果】

　　第二期大阪府がん対策推進計画の取組状況について、一部文章の軽易な修正がなされる可能性はあるとしたうえで、内容については承認。

（５）その他

　　　　　大阪府肝炎医療費援助事業《資料９》、及び《資料10》について事務局より説明。

　　なお、大阪府肝炎医療費援助事業の平成29年度予算が前年度より減額となったことについて、平成27年度の申請が非常に多く、28年度では申請数が落ち着いたこと、補正予算で５億円程度減額している旨を補足で説明。

○重症化予防事業について、実施していないのが長野県と大阪府だけと聞いている。是非大阪府において重症化予防事業を実施していただくようお取り計らい願いたい。医療費助成のこともあるので、お金を要することで大変だと思うがよろしくお願いしたい。

　　⇒重症化予防事業については、国と府のスキームの問題があって、現在の府の行っているスキームがあって精検受診率が現状の様になっている。府の形態を取り入れるとこれまでの府のスキームが維持できないことが分かっており、現在の大阪府のやり方を継続しながら国のスキームと合致するところについて協議の最中。この協議がうまくいったところで検討していくことにしているのでその辺ご了承願いたい。

【審議結果】

　　第３期大阪府がん対策推進計画策定スケジュール案については原案どおり承認。